



www.FoEJapan.org

イギリスのロックバンド・レイザーライトが FoE Japan の温暖化防止活動に協力

イギリスでもっともチャーミングなフロントマン、ジョニー・ボーレルを擁する国民的ロックバンド、レイザーライト (Razorlight) が、国際環境 NGO FoE Japan が行っている温暖化防止の法律の実現をめざすキャンペーン「MAKE the RULE」をサポートします。このたび、来日ツアーを行うにあたり、レイザーライトが FoE Japan の活動に協力し、東京会場では FoE Japan が来場者に「MAKE the RULE」への参加を呼びかけ、署名活動を行います。

イギリスでは2008年11月に世界で初めての中長期の温室効果ガス削減目標を法制化した「気候変動法」が施行されましたが、ジョニー・ボーレルはこの画期的な法律の実現を後押しした市民キャンペーン「The Big Ask」をサポートしていました。今回の FoE Japan への協力も、ジョニー・ボーレルの地球温暖化問題の取り組みの一環として行われます。



© Friends of the Earth

1. 背景

レイザーライトのフロントマン、ジョニー・ボーレル氏は FoE 英国及び FoE 欧州が実施した温暖化防止の法制度を求めるキャンペーン「The Big Ask」を全面的にサポートし、画期的な気候変動法の導入を政府に認めさせることに成功しています。ジョニー・ボーレル氏は「The Big Ask」に触発され、キャンペーンの一員として行動を起こしました。Friends of the Earth のウェブサイトを通じて地元の国会議員に手紙を書いたのです。数日後に返事を受け取ったとき、彼は人々が動けば変わるに違いないと実感し、キャンペーンをもっとサポートしようと自ら申し出ました。「The Big Ask」の後半、ジョニー・ボーレルとレイザーライトは、航空機からの排出を気候変動法に含める重要性を強調するため、ロンドン科学博物館の飛行機格納室で素晴らしいライブを行いました。

その結果、イギリスでは世界で初めて政府に中長期の温室効果ガス削減を義務付けた「気候変動法」ができ、2008年11月に法律として施行されました。その後「The Big Ask」は欧州17カ国に広がっています。

日本でも同様に、政府に中長期の温室効果ガス削減を義務付ける法律の制定を求めて2008年8月から「MAKE the RULE」キャンペーンが始まりました。

2. ジョニー・ボーレルからのメッセージ

ジョニー・ボーレル自身も温暖化防止のために様々なアクションをしています。

【別紙 FoE 英国によるジョニーへのインタビュー】

ファンに対しても、自分が何をできるか考え、省エネ型電球に換えたり、節水をすることを呼びかけています。そして何よりも重要なこととして、「声をあげること」を呼びかけているのです。

今回の日本ツアーでは、東京、名古屋、大阪の3会場で3公演が行われます。このうち東京公演において、レーザーライトがFoE Japanの活動をサポートすることになったものです。

レーザーライトのフロントマン、ジョニー・ボーレル氏は次のようにコメントしています。

「僕たちはイギリスでThe Big Askをサポートして、結果を出すことができた。参加してみてすぐに、キャンペーン参加するのはとても簡単だとわかった。だからこそ、たくさんの方が参加して大きな変化を生み出すことができたんだ。」

「今やイギリスは、温室効果ガスの排出を減らすことを約束する法律をもつ、世界で初めての国になった。これはすばらしい偉業だし、みんなが成果を求めて一緒に行動すれば、できるんだ、ということを示したんだよ。」

「だから、日本の皆さんに、FoE Japanの「MAKE the RULE」キャンペーンをサポートしてほしいんだ。東京のコンサート会場で署名に参加するか、ウェブページ (www.maketherule.jp) からの参加でもいい。」

3 . FoE Japan による活動

FoE Japan は、2008年8月、日本国内の他のNGOとともに、日本が確実に温室効果ガスを削減するための法制度づくりをめざして「MAKE the RULE」キャンペーンをキックオフしました。国会への請願署名を中心に、1人でも多くの市民が声をあげることを呼びかけています。

ジョニー・ボーレル氏が「The Big Ask」同様に、日本で行われる「MAKE the RULE」へのサポートを表明していることから、今回の来日公演における活動が実現することになりました。FoE Japan は、コンサート会場の来場者に対してキャンペーンについて説明し、署名活動への参加を呼びかける予定です。

【別紙 「MAKE the RULE」と「The Big Ask」】

4 . 活動の詳細

FoE Japan が活動を行う日程・会場は以下の通りです。

1月23日(金) SHIBUYA-AX

詳しくはこちら <http://www.foejapan.org>

FoE Japan とは

FoE(Friends of the Earth)は、世界70カ国に200万人のサポーターを有する国際的な環境団体のネットワークです。FoE Japan は、日本において、地球温暖化をはじめとする様々な環境問題の解決に向けて活動しています。

<別紙1> 「MAKE the RULE」と「The Big Ask」

<別紙2> FoE 英国によるジョニーへのインタビュー

【お問合せ窓口】

国際環境NGO FoE Japan 気候変動政策担当：瀬口、中根
TEL:03-6907-7217 FAX:03-6907-7219 softenergy@foejapan.org
<http://www.foejapan.org/>

別紙1 「MAKE the RULE」と「The Big Ask」

「MAKE the RULE」

MAKE the RULE は、日本において温室効果ガスを確実に削減するために中長期の目標とその道筋を法律として約束することを、日本政府に対して求めるキャンペーンです。2008年8月にキックオフし、署名をはじめとする様々な方法で一般市民からの声を国会議員や政府に届け、京都議定書の次の国際枠組みが決定する2009年末までの法制度の実現をめざします。

主要なメッセージは以下のとおりです。

1. 京都議定書の目標である6%の削減を守るのはもちろん、日本でのCO2などの温室効果ガスの中長期的な削減目標を定めること。
 - 2020年には1990年のレベルと比べて30%の削減をすること
 - 2050年には1990年のレベルと比べて80%の削減をすること
 - 2020年には一次エネルギー供給の20%を再生可能エネルギーにすること
2. 温室効果ガスを確実に減らすためのしくみ(ルール)を作ること。
 - CO2を減らす人・企業が報われ、CO2をたくさん出す人・企業には相応の負担を求める経済社会にすること(炭素税・排出量取引制度など)
 - 再生可能エネルギーを大幅にふやすしくみをつくること(固定価格買取制度など)

より詳しい情報はこちら

www.maketherule.jp

「The Big Ask」

2005年イギリスでFoE英国(Friends of the Earth - England, Wales and Northern Ireland)が温室効果ガス削減の長期目標および定量的な削減を法的に義務付ける法律の実現をめざすキャンペーン「The Big Ask」を開始しました。レディオヘッドのフロントマン、トム・ヨーク氏がスポークスマンとして積極的にメディアに出演し、気候変動法案の必要性を訴え、市民に参加を呼びかけました。国会議員に法案への賛同を求める署名やメールアクションには20万人以上が参加し、圧倒的多数の国会議員の賛成を得て、2008年11月に「気候変動法」が成立しました。これによってイギリスは、温室効果ガス削減を法的な義務として約束する世界で初めての国となったのです。

法律は、2050年に1990年比80%の削減に向け、5年ごとに国としての排出上限を設定し、徐々に排出量を減らす「カーボンバジェット」制度、独立した諮問機関・気候変動委員会の設置など、革新的なものです。

より詳しい情報はこちら

www.thebigask.com

The Big Askの欧州キャンペーンは、ヨーロッパ17カ国のFriends of the Earthが共同で行っています。それぞれの国では政府に対し、法的拘束力をもつ各年の削減を約束する法制度を求めています。また欧州連合に対しても、加盟各国に対して排出量を毎年削減するように義務付けるべきだと働きかけています。

欧州連合に対するThe Big Askは、EU域内での温室効果ガス排出量を2020年までに少なくとも30%、2050年までに90%削減することを求めています。

より詳しい情報はこちら

www.thebigask.eu

別紙 2

FoE 英国によるジョニーへのインタビュー (2007年10月)

イギリスでは女王陛下も、レイザーライトのライブを見たことがあります。彼らの最新アルバムは100万枚以上を売り上げました。

しかし、レイザーライトのフロントマン、ジョニー・ボーレルは、アツくなっているのはステージの上だけではないことを知っています。2006年、かれは地球温暖化問題の取り組みを手伝うため、「The Big Ask」へのサポートを宣言しました。

彼はツアーでキャンペーンの告知を行い、ファンに署名するようにすすめました。Friends of the Earthとともに「低炭素デー」を過ごした彼にインタビューをしました。

「心配なことがあったら、行動を起こせばいい。

信念にもとづいて立ち上がることを恐れちゃいけないんだ。」

ジョニー・ボーレル

温暖化問題について考え始めたきっかけは？

去年、映画「不都合な真実」を仲間と見た。お互いの顔を見て、何かしないといけないね、と話したんだ。

次の日 Friends of the Earth に電話して、「ハイ、ジョニーだけど、手伝いたいんだけど」って言ったんだ。

なぜ Friends of the Earth をサポートしているの？

僕は温暖化問題についてすごく心配していて、僕ができることのうち一番重要なことをしたかったんだ。僕にとって、それは政治に関わることだった。だから Friends of the Earth と「The Big Ask」に興味を持ったんだ。

「低炭素デー」はどうだった？

いつもやるいろんなことを炭素排出の少ない方法でやってみた。やってみる価値はあったよ。(ガソリンじゃなくて)電動スクーターで走ったり、太陽光で発電しているスタジオでレコーディングしたり、ロンドンの周辺地域内(M25)ですべての食材をまかなっているレストランでランチしたり。

やってみて、温暖化問題の解決策があることがわかった。このスタジオみたいな太陽光発電も今に主流になるだろうね。

みんなは何ができると思う？

省エネルギーの電球に換えたり、どんなにたくさんの水を使っているかを考えたりすることもできるけど、声を上げることができる。僕はこれがものすごく大切なことだと思っているよ。

声をあげるのって、簡単だよ。ウェブサイトから地元の国会議員にEメールを送り、友達にも教えればいい。僕自身もやってみたけど、メールを送ってから2、3日後に僕の地元の議員から手紙が返ってきたよ。

最後に一言メッセージを。

強力な気候法ができたなら、あらゆる種類の産業に効果があると思う。正しい方向に向けての大きな一歩になると思うよ。

(翻訳: FoE Japan 2009年1月15日)